

平成23年度
事業報告書

社会福祉法人
うきは市社会福祉協議会

目 次

□うきは市社会福祉協議会組織構成	1
役員名簿、常設委員会委員長名簿、部会長名簿	1
□うきは市社会福祉協議会運営理念、基本目標	2
□平成23年度事業報告〔概要〕	2
I 総務部門	4
1. 法人運営事業	4
(1) 理事会	4
(2) 評議員会	5
(3) 監査	5
(4) 会長・副会長会	5
(5) 社協会員に関すること	5
(6) 市民（会員）に対する弔意に関すること	6
(7) 職員の技量向上に関すること	6
2. 指定管理施設運営事業	6
(1) うきは市老人憩の家	6
(2) うきは市老人福祉センターちかぜ及び社会会館	6
(3) うきは市総合福祉センター	6
3. 公益事業	6
II 地域福祉活動部門	7
1. 調査・研究事業	7
2. 企画・広報事業	8
3. 連絡調整事業	8
4. たすけあい献血推進事業	9
5. 福祉サービス利用援助事業	10
6. 障害者地域生活支援事業	11
7. 不登校・ひきこもり対策相談支援事業	13
8. ふれあいのまちづくり推進事業	14
(1) 総合相談事業	14
(2) ボランティア活動に関すること	16
(3) ふれあいセンター・地区公民館福祉部、福社会活動支援事業	18
(4) 地区活動計画策定支援	21
(5) 民生委員児童委員活動の支援・助成	21
9. 共同募金配分金事業	21
(1) 高齢者への支援	21
(2) 障害者・家族への支援	22
(3) 児童・青少年福祉に関する支援	22
(4) 福祉教育に関する事業	23
(5) 住民全般に関する事業	24
(6) 災害緊急支援活動に関する事業	24
(7) たすけあい援護金品の支給に関する事業	25

(8) 歳末たすけあい配分事業に関すること	25
10. 資金貸付事業	26
(1) 生活福祉資金貸付事業	26
(2) 援護資金貸付事業	26
(3) 育英奨学資金貸付事業	26
11. 家族介護支援事業	27
12. 移送サービス支援事業	27
III 在宅福祉サービス事業部門	28
1. うきは市ケアプランサービスセンター	28
2. うきは市ヘルパーステーション	28
3. うきは市デイサービスセンター	29
4. 福祉給食センター	30
5. ワークサポート 白鳥の家	31
6. 関係機関との連絡調整	32
IV その他	33
1. 実習・見学受入状況	33
V 平成23年度寄付者名簿	34
一般会計(香典返し寄付)(一般寄付)(物品寄付)	34

うきは市社会福祉協議会組織構成

議決機関	評議員会 30名
執行機関	理事会 12名
監査機関	監事 2名
常設委員会	葬祭事業運営委員会 10名
	献血推進協議会 32名
	契約締結審査会 8名
	貸付調査委員会 9名
	地域福祉活動計画策定委員会 22名
部 会	高齢者福祉部会 12名
	障害者（児）福祉部会 14名
	児童福祉部会 12名
	福祉教育部会 12名
	ボランティア部会 12名
特別委員会	随時設置

役員名簿（平成24年3月31日現在）

役職	氏名（選出区分）
理事（会長）	坂手 進（有識者）
〃（副会長）	今村 茂清（有識者）
〃（副会長）	稲田 好男（有識者）
〃	舎川 晴一（区長会）
〃	古賀 恒徳（公民館・ふれあいセンター）
〃	永井 ケイ子（民生委員・児童委員協議会）
〃	高山 敏枝（議会）
〃	鎌田 康秀（行政）
〃	石井 忠孝（有識者）
〃	江島 義信（有識者）
〃	淵上 正子（有識者）
〃	岩崎 道代（有識者）
監事	伊藤 正勝（学識者）
〃	小林 誠一（学識者）

常設委員会委員長名簿（平成24年3月31日現在）

委員会名	委員長名
葬祭事業運営委員会	高浪 務
献血推進協議会	坂手 進
契約締結審査会	大石 ヨシ子
貸付調査委員会	江藤 武夫
地域福祉活動計画策定委員会	伊藤 正勝

部会長名簿（平成24年3月31日現在）

部会名	部会長名
高齢者福祉部会	梶村 福男
障害者（児）福祉部会	家永 重信
児童福祉部会	別府 美江
福祉教育部会	佐藤 勝詔
ボランティア部会	岩佐 捷之

うきは市社会福祉協議会運営理念

1. 住民の皆さまの色々な声をしっかり聴きとりに一緒に考えます。
2. より多くの住民皆さまと力を合わせて福祉のまちづくりを実現します。
3. サービスの質を高め在宅福祉を充実します。
4. 行政等に対応できないことでも住民皆さまと共に取り組んでいきます。
5. 地域の皆さまに積極的に福祉情報を提供します。

基本目標「誰もが幸せに暮らせるまちづくり」

平成23年度事業報告

うきは市社会福祉協議会は、社会福祉法に規定されている役割を自覚し、「住民皆さまの会」として、5つの運営理念のもと、基本目標に「だれもが幸せに暮らせるまちづくり」を掲げ事業を展開して参りました。

—概要—

【会員制度】

各世帯への趣意書の配布、会費の集約等については、今年度も区長会の全面協力を頂きました。

また、重点事項の「福祉座談会」は、集落、団体等の集まり等様々な機会を通じて開催し、新たに作成した社協パンフレットを活用して、社協事業と会費等の使途の理解・浸透に努めました。ただ、開催箇所が少ないのが現状です。

【校区・小地域福祉活動】

校区・小地域福祉活動の支援では、各地区に組織されているふれあいセンター又は地区公民館（福祉部）の代表者による定期的連絡会議の開催と担当職員の配置により、きめ細かい支援ができるよう努めました。

重点事項の「地区福祉活動計画」策定支援では、ふれあいセンター妹川と江南公民館（福祉部）が計画策定に取り組んでいただき、既に完了している御幸地区をあわせて3地区となりました。

行政区等小地域を範囲とする「福祉会」の設置推進は、年度末で23ヶ所と変わらず、組織化が課題です。

小座談会は、福祉の現状把握と小地区でできる福祉ネットワークづくりを目的に本年度推進を図り、52箇所（65区）で開催できました。

【ボランティアセンター】

ボランティアコーディネーターの配置（ボランティア4名）を始め2年目となりました。ボランティア連絡協議会の拠点としても定着し始め、ボランティアの手による活動が徐々に広がってきました。

【不登校・引きこもり相談支援】

市から委託を受け2年目の「不登校・引きこもり対策相談支援事業」は、全国的にも先駆的な取り組みであり先例が少ないなか、家族の会の組織化と定例相談会、総合福祉センター内に交流スペースを設けるなど、当事者との距離を縮めることに努めました。

当初に比べ相談も増え、専門機関との連携の必要な事例も多くなりましたが、感謝されるケースも増えてきました。

【認知症、障害等により判断能力が衰えた者の地域での暮らしを支える】

福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）を充実強化するため、生活支援員（ボランティア）を増員しその対応に努めました。しかし、このサービスは、一定以上判断能力が衰えてしまうと利用できないため、市所管課と先進地研修や協議を重ね、本会が法人として後見人となるような取り組みが必要との結論に至りました。次年度にはこれを具体的に発展させていく必要があります。

【災害ボランティアセンター】

平成17年の福岡西方沖地震、平成21年の中国・九州北部豪雨災害等を教訓に福岡県下で大規模災害時の相互支援協定が検討されていた折に東日本大震災が発生し、その必要性が痛感されることになり、両筑地区6社協（うきは市、朝倉市、東峰村、大刀洗町、小都市、筑前町）間で「災害時相互支援協定」を締結しました。

災害ボランティアセンターについては、市地域防災計画との整合性が必要で、市防災所管係、福祉係との協議を

経て市と「うきは市災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定書」を締結しました。社協はこのことにより、設置・運営の責任を持つことになるため、具体的な活動マニュアルの策定作業を開始し、今年度は「設置編」としてまとめ、次年度の「運営編」策定へとつなぐことにしました。

東日本の被災地支援には、時期は遅れることになりましたが、県社協を通じて派遣要請のあった福島県浪江町社協（派遣地は避難事務所がある二本松市）へ1名を10日間（現地8日）派遣しました。この経験について、団体等からの要請があれば、派遣職員による報告会として現地の状況等を伝えてきました。

【在宅福祉事業】

うきは市民が“地域”で“いつまでも”安心して幸せに暮らせるよう、多様なサービスを重層的に提供することで、その一端を支えることに努めて参りました。

しかしながら、これを経営面から見ると、介護保険事業は前年度比で収入が3.8%の減、収入予算に対しても14%の減となりました。しかし、障害者自立支援事業では、収入が前年度比22.4%の増、予算に対しても23.4%の増となりました。採算の悪い居宅介護支援事業（ケアプラン作成等）では体制の強化を図り、加算を取ることでより赤字幅の削減を行いました。介護サービス部門全体（介護保険事業、自立支援事業及び関連受託事業）では、収支差△2,801千円（前年比△1,601千円）と厳しい経営が続きました。

その原因には、要介護認定者数は僅かに増加傾向ではありますが、本会が実施している介護保険事業と同様のサービスを実施する事業所の増加による利用者の分散と積極的な利用者確保の取り組み不足があると考えられます。また、採算が合いにくい訪問入浴サービスとナイトケア（夜間預かり）事業を厳しい経営環境といえども市民の福祉を支えるために継続して実施致していることが挙げられます。

なお、市からの受託事業で、一人暮らし等高齢者の生活を食の面から支える「食の自立支援事業（配食サービス）」は、利用者が年度末には97人で、前年度比27人増、延べ配食数5,771食増となっています。安否確認を兼ねたこの事業は、孤独死の未然防止にもつながり、この事業を補完する本会独自事業の「あったか宅配サービス」と共にその必要性が高まるものと思われます。

【障害者就労支援事業】

10月1日に自立支援法に基づく新体系へと移行し、新たに「ワークサポート 白鳥の家」として、就労移行支援事業と就労継続支援事業B型の2事業をスタートさせました。

事業実施に際しては、「就職したい」、「働きたい」という利用者の思いを尊重し、それに応えることが出来るように職員体制の強化、新作業棟の整備等を行いました。また関係機関との連携により、地域の事業所での実習やトライアル雇用の受入先の開拓も行いました。この結果、年度中に利用者1名が地域の企業に採用されることとなりました。

今後、利用者が一人でも多く就職でき、就職後も安定してその仕事を続けられるようサポートするには職員体制強化と関係機関や企業との連携強化が課題として挙げられます。

【葬祭事業】

葬祭事業運営委員会から21年度に吉井町域住民の認知度がまだ低いとの指摘を受け、パンフレットの関係先への配布、チラシ（保存版）の全世帯配布等を行い、認知度は徐々に向上してきています。しかしながら「社協の葬祭事業を知らない」と答えた人が直近のアンケートでも4割弱に上っており、引き続き啓発の必要があります。

また、同委員会からは、うきは斎場の駐車場の確保と小規模葬のできる施設を検討するよう数年来意見・提言がなされており、これについては、近年の葬儀のかたちとして、色々な理由で近親者による葬儀（家族葬）が徐々に増えつつあり、難しい問題ですが応えて行かなければならない課題と認識しています。

I 総務部門

1. 法人運営事業

(1) 【理事会：全12回】 次の日程・内容にて、理事会を開催しました。

期日 回数	出席 (理事 / 監事)	内 容
4/28 第70回	9 / 2	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の委嘱について ・役員候補者推薦委員会委員の互選について
5/24 第71回	10 / 2	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度事業報告の認定について ・平成22年度一般会計及び特別会計収支決算報告の認定について
6/1 第72回	11 / 2	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長の互選について ・職務代理者の指名について ・役員候補者推薦委員の互選について ・顧問の委嘱について ・評議員の選任（教育委員会代表）について
7/13 第73回	11 / 2	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者小規模通所授産施設白鳥の家施設長の交替について ・身体障害者小規模通所授産施設白鳥の家の新体系移行について ・身体障害者小規模通所授産施設白鳥の家の新体系移行に伴う作業棟増築工事等及び県補助金の申請について ・社会福祉事業功労者顕彰について
7/29 第74回	8 / 2	<ul style="list-style-type: none"> ・白鳥の家作業棟増築位置の変更及び当該位置にある既存プレハブの移設・廃棄費用の負担について
8/19 第75回	11 / 2	<ul style="list-style-type: none"> ・定款の変更について ・平成23年度一般会計及び授産施設特別会計の第1次補正予算（案）について ・白鳥の家作業棟建設委員会の設置と委員の選任について
9/21 第76回	11 / 2	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度授産施設特別会計第2次資金収支補正予算（案）について ・障害者就労支援多機能型事業所運営規程の制定について ・障害者就労支援多機能型事業所工賃支払規程の制定について ・事務局規程の一部改正について ・職員給与及び退職手当に関する規程の一部改正について ・処務規程の一部改正について ・育英奨学金貸与規程の一部改正について ・うきは市災害ボランティアセンター設置運営に関する協定の締結について
9/28 第77回	9 / 1	<ul style="list-style-type: none"> ・市有プレハブ解体工事の方法について ・随意契約による白鳥の家作業棟増築工事实施設計委託及びパン移動販売車購入について
11/11 第78回	9 / 2	<ul style="list-style-type: none"> ・白鳥の家作業棟増築工事の契約方法について ・白鳥の家作業棟増築工事監理業務委託業者の契約方法について
12/19 第79回	11 / 2	<ul style="list-style-type: none"> ・歳末たすけあい事業について ・地域福祉活動計画策定委員会委員の選任について ・市からの運営補助金削減要請について
2/14 第80回	10 / 1	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度事業重点項目素案について
3/23 第81回	8 / 2	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度事業計画（案）について ・平成24年度一般会計及び特別会計資金収支予算（案）について ・経理規程の一部改正について ・基金設置規程の一部改正について ・指定訪問介護事業所及び指定介護予防訪問介護事業所運営規程の一部改正について ・指定通所介護事業所及び指定介護予防通所介護事業所運営規程の一部改正について ・指定認知症対応型通所介護事業所及び指定介護予防認知症対応型通所介護事業所運営規程の一部改正について ・指定訪問入浴介護事業所及び指定介護予防訪問入浴介護事業所運営規程の一部改正について ・福祉サービス利用援助事業運営規程の一部改正について ・育英奨学金貸与規程の一部改正について

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

(2) 【評議員会：全4回】 次の日程・内容にて評議員会を開催しました。

期日 回数	出席者 出席/総数	内 容	会 場
5/30 第28回	25 / 30	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度事業報告の承認について 平成22年度一般会計及び特別会計収支決算報告の承認について 次期役員の選任について 役員候補者推薦委員会次期委員の互選(評議員6名)について 	うきは市 総合福祉センター
8/26 第29回	19 / 30	<ul style="list-style-type: none"> 定款の変更について 平成23年度一般会計及び授産施設特別会計の第1次補正予算について 	うきは市 総合福祉センター
9/28 第30回	22 / 30	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度授産施設特別会計第2次補正予算について 	うきは市 総合福祉センター
3/29 第31回	19 / 30	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度事業計画(案)について 平成24年度一般会計及び特別会計資金収支予算(案)について 	うきは市 総合福祉センター

(3) 【監査：全5回】

	期日	内 容	会 場
第1回	5/19	平成22年度決算監査	うきは市総合福祉センター
第2回	7/19	平成23年度第1期監査(4月～6月)	うきは市総合福祉センター
第3回	10/20	平成23年度第2期監査(7月～9月)	うきは市総合福祉センター
第4回	1/20	平成23年度第3期監査(10月～12月)	うきは市総合福祉センター
第5回	3/15	平成23年度第4期監査(1月～2月)	うきは市総合福祉センター

(4) 【会長・副会長会：全13回】

会長・副会長会を4/28、5/23、6/1、6/28、7/7、7/26、9/21、9/28、10/5、10/24、1/17、2/14、3/22に開催。

(5) 【社協会員に関すること】

①住民会員、賛助会員

地区名	住民会員			賛助会員		会費計
	(加入世帯 / 総世帯)	加入率	会費	加入口数	会費	
妹川	147 / 163	90.2%	73,500	115	57,500	131,000
新川	124 / 145	85.5%	62,000	64	32,000	94,000
田籠	57 / 71	80.3%	28,500	54	27,000	55,500
小塩	208 / 239	87.0%	104,000	62	31,000	135,000
山春	757 / 841	90.0%	378,500	549	274,500	653,000
大石	694 / 901	77.0%	347,000	574	287,000	634,000
御幸	1,790 / 2,228	80.3%	894,005	854	427,000	1,321,005
千年	596 / 1,549	38.5%	297,700	212	106,000	403,700
吉井	923 / 1,575	58.6%	461,500	260	129,600	591,100
福富	866 / 1,312	66.0%	432,500	144	72,000	504,500
江南	732 / 1,077	67.1%	361,500	90	45,000	406,500
市外				9	4,500	4,500
合計	6,885 / 10,101	68.2%	3,440,705	2,987	1,493,100	4,933,805

※住民会費は一世帯500円、賛助会費は1口500円ですが、募金と混同して入金があるため金額に端数が出ています。

②団体会員 会費1団体 5,000円

社会福祉法人両筑福祉会(知的障害者通所授産施設浮羽学園)

社会福祉法人浮羽コロニー(知的障害者更生施設希望が丘)

社会福祉法人凶南会(特別養護老人ホームえびね荘)

社会福祉法人遊林福祉会(遊林愛児園)

社会福祉法人ふたば会(特別養護老人ホーム水月吉井)

(6) 市民（会員）に対する弔意に関すること

うきは市民（社協会員）でお亡くなりになった方のご遺族に、社協より弔電をお送りしました。

(7) 職員の技量向上に関すること

職員の技量向上のため、下記のような研修を行いました。

	期日	参加者（対象）	内 容
第1回	4/20	71名（全職員対象）	社協職員としての心構え
第2回	7/21	40名（自主）	不登校引きこもり関係研修
第3回	9/29	16名（総務課、デイサービス）	職場間の連携意見交換会
第4回	12/15	63名（全職員対象）	新体系移行後の白鳥の家、大規模災害時の私たちの役割
第5回	2/21	72名（全職員対象）	職員のこころの健康について

2. 指定管理施設運営事業

各施設が施設の目的に従って利用促進が図られるように努めました。また、広報やパンフレット等を活用し市民の方々に広く周知し、7/29にはうきは市老人福祉センターちかぜにて「カラオケ大会」を、11/30には、うきは市老人憩の家にて「憩の家まつり（芸能発表会）」を行いました。

(1) うきは市老人憩の家

(人)

	開館 日数	一般利用						全額免除	半額免除	総利用者数
		吉井	浮羽	市外	計	(男性)	(女性)			
年間計	299	4,711	928	181	5,820	2,713	3,107	206	582	6,608
1日平均		15.8	3.1	0.6	19.5	9.1	10.4	0.7	1.9	22.1
月平均	24.9	392.6	77.3	15.1	485.0	226.1	258.9	17.2	48.5	550.7

(2) うきは市老人福祉センターちかぜ及び社会会館

(人)

	開館 日数	一般利用						全額免除	宿泊者	貸室 利用	総利用者数
		吉井	浮羽	市外	計	(男性)	(女性)				
年間計	309	2,070	6,535	2,857	11,462	5,182	6,280	267	64	994	12,787
1日平均		6.7	21.1	9.3	37.1	16.8	20.3	0.9	0.2	3.2	41.4
月平均	25.8	172.5	544.6	238.1	955.2	431.9	523.3	22.3	5.3	82.8	1,065.6

(3) うきは市総合福祉センター

(人)

	開館 日数	一般用貸出室				その他の 部 屋	総利用者数
		利用料免除団体		一般利用			
		団体数	人数	団体数	人数		
年間計	294	229	4,592	100	1,189	4,333	10,114
1日平均		0.8	15.6	0.3	4.0	14.8	34.4
月平均	24.5	19.1	382.7	8.3	99.1	361.1	842.9

3. 公益事業

「生活の無駄を省く運動」の一環として、昭和51年より葬祭事業を、平成16年度にはうきは斎場を建設し斎場葬を実施。公益事業として誰も訪れる死に対し、華美な飾り付けや出費をあおらず荘厳で丁寧な葬儀を低額で提供できるように努めました。また、斎場葬儀の利便が図られるように要望があった無料送迎を遺族の希望に応じ実施しました。

- 利用件数 133件
 - 自宅・寺院葬 34件
 - 斎場葬 99件

- 委員会・・・次の日程にて委員会を開催しました

	期日	会場	出席者
葬祭事業運営委員会	3/6	うきは市総合福祉センター	委員10名

II 地域福祉活動部門

1. 調査・研究事業

(1) 【部会】

次の日程・内容にて各部会が開催され、地域の福祉課題に関して研究・意見の集約をおこない、会長に提言がなされました。

部会名	期日	出席者	協議事項
高齢者福祉部会	7/7	委員 10 名	<ul style="list-style-type: none"> ・三役の互選 ・22 年度部会報告 ・23 年度の事業について
	11/15	委員 7 名	<ul style="list-style-type: none"> ・移動店舗車視察研修 視察先：(株) A コープ佐賀・A コープ有浦店 移動店舗車「SUN フラワー」
	2/6	委員 10 名	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の買い物支援について（提言）
障害者（児）福祉部会	7/7	委員 13 名	<ul style="list-style-type: none"> ・三役の互選 ・22 年度の部会活動について ・23 年度の部会活動について ・公民館等の公共施設改善のことについて
	9/16	委員 11 名	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設改善要望の提出状況と今後の方針について ・啓発資材の配布について ・研修 東日本大震災と障害者の生活状況について 講師 岸 良至氏 こぐま学園園長
	11/8	委員 11 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくしのかわら版への子育て奮闘記連載について ・うきは市人権フェスティバルについて
	1/23	委員 12 名	<ul style="list-style-type: none"> ・人権フェスティバルの報告 ・23 年度の部会活動の振り返り ・24 年度の社協活動への提言
	2/21	委員 9 名	<ul style="list-style-type: none"> ・視察研修 視察先：NPO 法人ねこの会 民家活用の施設見学とねこの会の取り組みについて
児童福祉部会	7/7	委員 9 名	<ul style="list-style-type: none"> ・三役の互選 ・社協の児童福祉分野に関する事業について ・22 年度の児童福祉部会提言について ・うきは市における児童福祉分野の課題について
	12/24	委員 7 名	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て情報紙の作成について ・不登校・引きこもり支援について ・子育て支援について意見交換
	1/30	委員 11 名	<ul style="list-style-type: none"> ・23 年度の社協活動の取り組みについて ・24 年度社協活動への要望とりまとめについて
福祉教育部会	7/7	委員 10 名	<ul style="list-style-type: none"> ・三役の互選 ・22 年度の提言について ・23 年度の部会開催予定 ・24 年度の取り組みについて、意見交換
	2/6	委員 7 名	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換 ・24 年度社協事業への提言について
ボランティア部会	7/7	委員 9 名	<ul style="list-style-type: none"> ・三役の互選について ・22 年度のボランティア部会提言について ・うきは市社協のボランティアに関する事業について ・23 年度の部会活動について（意見交換）
	11/4	委員 7 名	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回ボランティア部会での意見を踏まえての方策案の検討 ・22 年度の提言についての現状報告と意見交換
	1/31	委員 8 名	<ul style="list-style-type: none"> ・第 2 回ボランティア部会まとめ ・24 年度に向けての提言、意見交換 ・24 年度の部会について
部会名	期日	出席者	内容
合同部会	7/7	委員 51 名	<ul style="list-style-type: none"> ・部会員の委嘱

(2) 地域福祉活動計画策定委員会

期日	会場	出席者	内容
3/30	うきは市役所西別館	委員 16 名	・交代委員の委嘱 ・次期計画の策定について

(3) 社協だよりを活用した住民アンケート調査

市民からの声を拾い上げるために、ふくしのかわら版を活用し、郵送形式の意識調査を実施しました。(ふくしのかわら版5月号、7月号、11月号、2月号にて実施) 8通

なお送付いただいた内容については、事務局での検討対応、市への取り次ぎ、あるいは地元の民生委員と連絡を取り、状況確認と支援をおこないました。

(4) うきは市基本データの集積

うきは市の人口・世帯の増減や高齢率・年少率等の参考データを算出するために、市役所福祉係を介して、情報処理係に依頼し、4月にうきは市基本データを集積しました。

2. 企画・広報事業

(1) 住民啓発資材(社協名入り入浴剤、各種パンフレット等)

社協の連絡先や相談窓口を啓発するために、住民配布用の資材として、入浴剤、ボールペン、クリアファイルなどを配布しました。

(2) 広報カーの活用

たすけあい献血活動などを広報するために、社協の広報カーを活用しました。

(3) 行政放送の活用

社協の相談窓口や献血活動などをお知らせするために、市役所防災無線を活用させて頂きました。

(4) 啓発ビデオの活用

19年度に作成しました啓発用ビデオ「みんなで支えあううきは市へ ～うきは市の小地域福祉活動～」を福祉委員研修会等において上映し、地域福祉推進、ボランティア活動推進に活用しました。

(5) 福祉座談会の実施

社協活動について、区の常会等にて説明を行い、地域福祉の啓発活動を行いました。

・実施回数 8回

期日	実施区	参加者数
5/10	能楽区	11名
5/28	江南校区区長会	19名
7/15	福富校区区長会	15名
9/17	包末区	15名
10/11	田籠区	15名
12/17	長野区	15名
1/7	日ノ岡区	15名
2/23	朝田原区	72名

3. 連絡調整事業

(1) 連絡調整

行政をはじめとする関係機関との連絡・調整のため次のような会議を行いました。

連絡調整対象	連絡調整方法	連絡調整事項等
ふれあいセンター、地区公民館福祉部	ふれあいセンター・公民館福祉部連絡会	活動推進、活動内容、事業日程他
うきは市民生委員・児童委員協議会	定例会、代表委員会	活動内容、研修内容他
行政	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、地域福祉事業推進他
両筑管内社協(6市町村社協)	両筑地区社協連絡会	事業内容、課題解決他

(2) 委員会、会議等への参加

関係機関との連絡調整、事例検討、事業推進のため各種委員会、会議等へ参加しました。

委員会、会議等名称	主な内容	設置者(担当所管)
地域福祉計画審議会	次期計画の策定	福祉事務所福祉係
精神障害者地域支援会議	地域生活への移行支援	北筑後保健福祉環境事務所
筑後地区高齢者・障害者支援連絡協議会	高齢者・障害者の処遇困難ケース検討	うきは市福祉事務所(事務局)
要保護児童対策地域協議会実務者会議	要保護児童についての情報交換、検討	福祉事務所子育て支援係
地域子育て支援センター実務者会議	未就園児に係る支援	遊林ランド
不登校・引きこもり対策相談支援事業サポート協議会	不登校・引きこもり対策相談事業に関するサポート協議	福祉事務所福祉係
ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク協議会	見守りネットワーク事業	福祉事務所福祉係
自殺対策協議会	自殺対策の研究、防止啓発	福祉事務所福祉係
社協・市・地域包括支援センター協議	介護保険利用者以外で支援が必要と思われるケースの情報交換	地域包括支援センター

4. たすけあい献血推進事業

(1) 献血推進協議会

期日	会場	出席者	内容
11/18	うきは市総合福祉センター	委員 22 名	平成 22 年度献血運動について 平成 23 年度献血運動について 年頭たすけあい献血について

(2) 地域献血

期 日	地区別	会 場	配車台数	参加者	採血者 (%)	不採血者
5/18 (水)	全 域	ムラおこしセンター	2	245	198 80.8%	47
10/4 (火)	全 域	ムラおこしセンター	2	193	151 78.2%	42
合 計		2 回	4	438	349 79.7%	89

(3) 年頭たすけあい献血

期 日	地区別	会 場	配車台数	参加者	採血者 (%)	不採血者
1/3 (火)	山 春	山春公民館	1.5	111	96 86.5%	15
	福 富	福富公民館	1	68	56 82.4%	12
	新 川	新川公民館	0.5	27	23 85.2%	4
	田 籠	田籠公民館	0.5	19	17 89.5%	2
	妹 川	尼ヶ瀬公民館	0.5	26	20 76.9%	6
1/4 (水)	御 幸	うきは市公民館	2	159	129 81.1%	30
	大 石	大石公民館	1.5	99	76 76.8%	23
	小 塩	小塩公民館	0.5	27	23 85.2%	4
	千年・江南	市役所西別館	1	121	98 81.0%	23
1/5 (木)	吉井	うきは市生涯学習センター	1	95	87 91.6%	8
	浮羽	男女共同参画センター	1	81	60 74.1%	21
合 計		11 回	11	833	685 82.2%	148

(4) 事業所等献血

期 日	事業所、団体名	配車台数	参加者	採血者 (%)	不採血者
9/22 (木)	うきは警察署	0.5	22	17 77.3%	5
9/22 (木)	テクノ月星	0.5	29	24 82.8%	5
12/2 (金)	J A にじ本所	1	105	89 84.8%	16
合 計	3 回	2	156	130 83.3%	26

(5) 会議、研修会等

期 日	会議、研修会名	会 場	参加者
5/31	福祉教育推進指定校連絡会	総合福祉センター	15名
7/21	ライオンズクラブ・市町村献血担当者合同研修会	久留米市九州血液センター	1名
7/27	第45回福岡県献血運動推進大会	みやま市	10名
9/16	福祉教育事業 御幸小学校4年生	御幸小学校	99名
11/9	ライオンズクラブ・市町村献血担当者合同献血推進研究会	福岡市八仙閣	1名
2/8	うきは市献血推進協議会研修会	久留米市九州血液センター	18名

(6) 献血活動の広報

献血活動を推進するために、市広報・社協だより「ふくしのかわら版」への掲載、各行政区、市内主要箇所におけるポスターの掲示、広報カー・市役所防災無線での呼びかけ、年頭たすけあい献血チラシの全戸配布を行い、市民の皆さんにお知らせいたしました。

また、地域献血及び事業所献血では、参加者に対しBOXテッシュを、年頭たすけあい献血では、参加者にマグネットを進呈しました。

5. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

(1) 福祉サービス利用援助事業

本会独自事業として、福祉サービス利用援助事業を実施し、利用者の日常生活の自立を支援しました。支援契約にあたっては、契約締結審査会の意見答申を受けて締結しました。また、支援の充実を図るために業務を補助する生活支援員を4名に増員しました。

契約締結審査会

	期日	会場	出席者
第1回	6/22	うきは市総合福祉センター	委員7名
第2回	9/26	うきは市総合福祉センター	委員6名
第3回	12/27	うきは市総合福祉センター	委員6名
第4回	3/27	うきは市総合福祉センター	委員6名

3月末の契約者数 18件

- ①福祉サービス利用援助 3月末利用者数 10件
(福祉サービス利用についての相談、情報提供、利用料金支払代行等)
 - ②日常的金銭管理 3月末利用者数 16件
(公共料金等の支払代行、預貯金の出し入れ支援等)
 - ③書類等預かりサービス 3月末利用者数 17件
(日常的な金銭管理に使用する預金通帳や印鑑、年金証書、契約書等の預かり)
- ※複数のサービスを利用されている方もあります。

相談経路 [平成23年度利用者(契約者・試行利用者のみ) 実人員24名]

福祉事務所保護係	8	小学校	1
地域包括支援センター	5	入所先施設	1
民生委員・児童委員	2	市年金係	1
家族・親族	4	その他	1
本人	1		

援助者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	高齢者	8	8	7	7	7	7	6	6	6	6	5	5
	身体障害者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0
	知的障害者	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7
	精神障害者	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2
	その他	2	2	2	2	2	3	4	4	4	4	4	4
試行利用契約		1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1
状況観察		0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1
合計		19	18	17	19	18	21	20	20	20	21	19	20

訪問、活動回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
契約者	高齢者	35	33	34	38	38	35	33	26	29	31	31	33	396
	身体障害者	1	1	1	2	1	2	1	1	4	5	0	0	19
	知的障害者	35	34	41	44	40	32	36	43	27	28	47	35	442
	精神障害者	6	6	7	8	5	14	20	14	19	12	17	19	147
	その他	16	20	23	21	27	38	43	52	54	40	42	36	412
試行利用契約	3	0	0	0	11	0	0	0	0	11	10	11	46	
状況観察	0	0	0	10	0	13	0	0	0	0	0	2	25	
合計	96	94	106	123	122	134	133	136	133	127	147	136	1,487	

その他

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
その他権利擁護に関する相談受付回数	1	1	1	0	2	3	1	0	1	0	0	2	12
新規契約者	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	4
契約終了者	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	4

また、認知症高齢者や障害者等要支援者に対する悪質業者による訪問販売への対応（行政、地域包括支援センター等関係機関との連絡調整）など、本サービスの利用に結びつかない事例でも、随時相談に応じると共に、必要に応じて成年後見人制度の紹介、申立に繋げるなど対応しました。

(2) 啓発活動

説明用パンフレットを社協窓口を設置。また、民生委員や関係機関等に配布しました。

(3) 法人後見等の研究

下記のような研修会等へ参加したり、市担当者との打合会や視察研修等を行い、社協における法人後見について研究を行いました。

期 日	会議、研修会名	会 場	参加者
6/24	両筑地区社協連絡会地域活動部会研修会 テーマ／成年後見制度について 講 師／もりたか社会福祉士事務所 森高 清一氏	朝倉市社協	3名
9/4	第3回権利擁護支援フォーラム in 久留米 テーマ／権利としての成年後見制度を考える	久留米市総合福祉センター	3名
9/5	「権利擁護支援の推進と地域システムの構築」に関する勉強会（意見交換会）	久留米市総合福祉センター	4名
9/6	市担当者との法人後見に関する打合会	総合福祉センター	9名
9/9	両筑地区社協連絡会地域活動部会研修会 テーマ／社協における法人後見の取り組みについて 講 師／太宰府市社協 事務局次長 古川 妙子氏	大刀洗町社協	3名
12/3	両筑地区社協連絡会全体研修会 テーマ／成年後見制度 ～法人後見制度の現状と課題 講 師／太宰府市社協 事務局次長 古川 妙子氏	東峰村基幹集落センター	32名
2/3	法人後見に関する先進地視察研修 視察先／山鹿市社協 やまが成年後見センター	山鹿市老人福祉センター	8名

6. 障害者地域生活支援事業

(1) 障害者相談支援事業

市からの受託事業として、障害者の様々な相談に応じると共に、障害者自立支援法に基づく福祉サービス利用に係る障害者障害程度区分認定調査及び障害程度区分認定審査会への参加を行いました。

相談件数・相談内容

		身体障害者	知的障害者	精神障害者	関係機関	その他	合計
相談方法	電話	8	394	524	678	198	1,802
	来所	89	390	869	135	105	1,588
	訪問	33	176	80	71	36	396
	FAX・メール	1	2	6	2	0	11
合計		131	962	1,479	886	339	3,797
相談内容内訳	①福祉サービスの利用	8	23	38	129	25	223
	②障害や病状の理解	3	2	24	49	33	111
	③健康・医療	7	123	247	75	33	485
	④不安の解消・情緒安定	9	98	325	13	15	460
	⑤保育・教育	0	0	0	0	0	0
	⑥家族関係・人間関係	19	53	251	14	16	353
	⑦家計・経済	8	115	69	21	9	222
	⑧生活技術	3	71	29	0	0	103
	⑨就労	10	5	26	11	5	57
	⑩社会参加・余暇活動	7	14	74	3	1	99
	⑪権利擁護	0	0	0	3	0	3
	⑫その他	57	458	396	568	202	1,681

- *障害程度区分認定調査件数 104件
- *障害程度区分認定審査会参加 7回
- *地域自立支援協議会参加 2回
- *地域自立支援協議会事務局会議参加 5回

(2) 障害者地域支援センター(ほっとスペースうきは) 利用促進

うきは市総合福祉センターにおいて、障害者の交流・相談の拠点として障害者地域支援センターを運営しました。センターでの活動に際しては利用者の皆さんに登録を頂き、利用していただいています。また、随時見学も受け入れております。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数実数		40	32	44	29	65	38	26	34	44	43	50	28	473
内訳	身体障害者	13	6	6	3	7	9	3	5	5	5	15	6	83
	知的障害者	9	5	2	5	6	6	3	4	7	5	6	3	61
	精神障害者	11	15	19	14	16	16	15	18	19	14	16	15	188
	障害児	0	0	6	0	8	0	0	0	1	3	0	0	18
	関係者・家族	7	6	11	7	28	7	5	7	12	16	13	4	123
利用者延人数		162	157	170	148	219	171	143	144	151	119	156	142	1,882
内訳	身体障害者	48	22	13	28	33	30	20	9	9	15	34	26	287
	知的障害者	27	33	15	13	20	23	25	20	19	11	13	10	229
	精神障害者	80	96	122	97	130	110	93	107	107	72	91	100	1,205
	障害児	0	0	6	0	8	0	0	0	1	3	0	0	18
	関係者・家族	7	6	14	10	28	8	5	8	15	18	18	6	143
新規登録者数		30	4	1	0	2	0	2	1	0	0	0	0	40
内訳	身体障害者	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
	知的障害者	8	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	11
	精神障害者	19	2	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	25
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
見学者数		0	9	0	2	18	0	6	0	0	0	0	0	35
内訳	身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神障害者	0	6	0	1	13	0	5	0	0	0	0	0	25
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	関係者・家族	0	3	0	1	5	0	1	0	0	0	0	0	10

7. 不登校・ひきこもり対策相談支援事業

市の受託事業として、専門相談員を配置し、不登校の子どもたち、ひきこもり状況にある方、その家族を対象に、相談に応じると共に、本人の同意を得た上での訪問活動、連携機関との情報共有、通年セミナーの開催等を行いながら包括的な支援を展開するなど、より本人の希望する道へと導けるよう支援を行いました。

また、今年度から相談・交流スペースを設置・午後をフリースペースとして開放、専用相談ダイヤルの設置、メール・インターネットでの相談開始、家族会の開催等を開始しました。特に家族支援の観点から、「うきは市不登校・ひきこもりを考える会」と共催で開催した家族会は、延べ12回開催、94名の参加がありました。

支援実人数と相談・訪問支援件数

	不登校	ひきこもり	合計
支援実人数	22	16	38

支援方法	不登校	ひきこもり	合計
相談支援（電話・メール・来所） / 回	262	100	362
訪問支援（自宅訪問） / 回	92	35	127
合計	354	135	489

※不登校とひきこもりの定義

【不登校（文部科学省定義）】

何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいはしたくともできない状況にあるため年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの。

【ひきこもり（厚生労働省定義）】

自宅にひきこもって学校や会社に行かず、家族以外との親密な対人関係がない状態が6ヶ月以上続いており統合失調症（精神分裂病）やうつ病などの精神障害が第一の原因とは考えにくいもの。

支援状況

経過（不登校）	人数	経過（ひきこもり）	人数
進路・転校決定	3	高卒認定試験合格	1
登校開始・継続	10	就労開始・継続	4
不登校気味	3	就労支援開始	1
完全不登校	4	ひきこもり気味	6
ひきこもりへ移行	1	完全ひきこもり	4
就労移行	1		
合計	22	合計	16

フリースペース利用状況・回数

利用実人数	人数
不登校	8
ひきこもり	3
家族・関係機関	16
利用者	回数
不登校	137
ひきこもり	54
家族・関係機関	181

関係機関との連携（会議・打ち合わせ等）

連携機関名	連携回数	連携機関名	連携回数	連携機関名	連携回数
市内小学校	54	スクールカウンセラー	35	福岡市子ども総合相談センター	6
市内中学校	97	福岡県若者サポートステーション	2	学生ボランティア	3
高等学校・通信制高校	32	福岡県ひきこもり地域支援センター	4	家族会	14
大学	3	北筑後保健福祉環境事務所	4	民生委員・児童委員	15
市（福祉事務所等）	139	ハローワーク・就労機関	5	その他関係施設・講師	43
うきは市教育センター	15	久留米児童相談所	16	他市町村社協	4
適応指導教室（キーノート）	60	久留米少年サポートセンター	10	合計	561

不登校・ひきこもりに関するセミナーの開催

開催日	会場	参加者数	内容
5/26 (木)	うきは市総合福祉センター	13名	「家族で支える不登校セミナー～新しい環境と子どもたちの変化、家族の立場～」 教育文化研究所 所長 長阿彌 幹生 氏
7/23 (土)	うきは市総合福祉センター	20名	「元当事者と保護者の立場から考えるひきこもりセミナー ～今だから伝えることのできるメッセージ～」 コーディネーター：福岡県立大学 大学院 講師 四戸 智昭 氏 話し手：元当事者2名、家族2名

開催日	会 場	参加者数	内 容
10/29 (土)	うきは市総合福祉センター	14名	「不登校・ひきこもりで悩む子へのサポートを知るセミナー ～あらゆる進学の形と就労への歩み～」 (進学) 株式会社 千年市場 村岡 智明氏 (就労) 福岡県若者サポートステーション 梅田 洋子氏
3/10 (土)	うきは市総合福祉センター	12名	『『お父さん』から家族へと伝えるメッセージ～父から見る家族・子ども・私～』 福岡県立大学 大学院 講師 四戸 智昭氏

8. ふれあいのまちづくり推進事業

(1) 総合相談事業

市民の皆さまの気軽な相談窓口として、各種相談に応じられるよう相談所を開設しました。

①心配ごと相談（常設相談）

相談開設：毎週火～金曜日 9:00～15:00

相談場所：水・金／浮羽事務所

火・木／吉井事務所

開設日数	196
相談者	114
相談経路 来所	90
// 電話	24
相談件数※	124

※相談内容をカウントしており相談者数とは異なります。

相談援助事項

終了解決	63
相談継続	3
社協による援助実施	2
弁護士相談紹介	14
他機関・組織への紹介	42
内 民生委員児童委員	8
内 福祉事務所	4
内 その他行政機関	24
内 その他民間組織	6

	相談事項	件数	内 容	内数	
暮らし住まい	生計問題	10	公的扶助（生活保護）	4	
			生活福祉資金	1	
			ローン問題	2	
			公私借入問題	1	
			サラ金問題	1	
			その他	1	
	年金問題	1	その他	1	
職業・生業問題	2	賃金	1		
		雇用者側から相談	1		
家族	住宅問題	6	借屋	6	
	家庭問題	14	夫婦関係	4	
			親子関係	5	
			嫁姑関係	1	
			家庭不和	3	
			親族問題	1	
	離婚問題	4	離婚相談	1	
			離婚手続き	1	
			離婚後の紛争	1	
			その他	1	
	健康医療	健康・衛生問題	4	健康増進	1
				環境整備	2
				覚せい剤	1
		医療問題	1	その他	1

	相談事項	件数	内 容	内数
法律	人権法律問題	1	その他	1
	財産問題	14	遺産分割	2
			土地売買	3
			境界線（相隣問題）	3
			金銭貸借	3
			名義変更	1
			債務整理	2
			事故問題	2
	不慮の事故	1		
	福祉教育	児童福祉・母子保健問題	1	出産
障害者（児）福祉問題		6	手帳	2
			精神疾患	3
老人福祉問題		1	その他	1
			老人福祉施設	1
その他	苦情問題	17	行政施策に関する苦情	1
			相隣関係の苦情	13
			その他の苦情一般	3
その他	40		40	
計				124

②母子・父子・女性相談

相談開設：年12回（毎月第1木曜日）

相談場所：偶数月／浮羽事務所

奇数月／吉井事務所

	浮羽	吉井	計
相談開設	6	6	12
相談来訪者	4	0	4
電話相談	1	0	1
相談件数	5	0	5
内容	生活苦	0	0
	住宅問題	0	0
	離婚	1	1
	その他	4	4

④弁護士無料法律相談

相談開設：年12回（毎月第3木曜日）

相談場所：偶数月／浮羽事務所

奇数月／吉井事務所

相談開設	12
相談来訪者	81
相談件数※	106

※相談内容をカウントしており、来訪者数とは異なります。

③第三者苦情相談

相談開設：6回

相談場所：浮羽事務所 5/9、9/6、1/17 実施

吉井事務所 7/5、11/1、3/6 実施

	浮羽	吉井	計
相談開設	3	3	6
相談来訪者	0	0	0

※ 5/9 水月吉井、えびね荘、社協による情報交換会実施

※ 1/17 には水月吉井、えびね荘、社協デイサービスセンターを訪問し、サービス現場の状況を把握しました。

相談結果

指導助言	98	
扶助協会への紹介	0	
弁護士紹介	8	
内訳	相談担当者直受	4
	継続相談	4
	相談担当者以外	0

	相談事項	件数	分類	内数		
一般民事関係	不動産関係	30	所有権	6		
			登記	2		
			売買	2		
			賃借権	3		
			家屋明渡	2		
			建物撤去土地明渡	2		
			建築工事	1		
			境界	5		
			日照権	1		
			相隣	3		
			その他	3		
			債権関係	16	賃金	9
					請負代金	2
	その他	5				

	相談事項	件数	分類	内数
一般民事関係	損害賠償	16	交通事故	2
			医療事故	1
			障害	4
			その他	9
			その他	8
	家事関係	32	倒産関係	2
			保証関係	2
			その他	4
	家事関係	32	離婚	8
			離婚以外の夫婦問題	2
相続			15	
家事関係	32	親子	5	
		その他	2	
一般事件	4	事件	4	
合計				106

・ 7/29 福岡県弁護士会筑後部会主催 講演会後の無料法律相談開設 来訪者6名、相談件数6件

⑤相談員研修

相談員の資質向上を図るため次の研修会の実施及び参加をしました。

期日	会場	参加者	研修内容
4/18	うきは市総合福祉センター	29	相談員委嘱状交付、研修「相談業務に携わって」講師/小塩増夫・別府美江氏
9/30	福岡市中央区 南天神ビル	1	法テラス福岡分科会（事例検討）
10/26	大牟田市労働福祉会館	9	県法律相談合同研修会 講演「高齢者を狙う悪徳商法について」、意見交換会
11/21	アクロス福岡	2	法テラス福岡地方協議会
12/12	うきは市民センター	8	山口県美祢市社協相談員との意見交換（美祢市/15名）
12/16	うきは市総合福祉センター	18	社協相談員研修「弁護士業務の現状と法テラスについて学ぶ」、意見交換会 講師/仲家淳彦・舞弓紫弁護士
3/15	ヒルトン福岡シーホーク	3	第三者苦情相談員研修会
3/26	うきは市総合福祉センター	28	社協相談員研修「司法書士について学ぶ」講師/富永真博・坂田憲一司法書士

⑥相談窓口啓発パンフレットの配布

福祉委員（福祉委員委嘱状交付式、福祉委員研修会等）の皆さま方にパンフレットの配布を行いました。

(2) ボランティア活動に関すること

①ボランティアセンター運営

ボランティアセンターでは、毎週月曜日～土曜日（日、祝日は休み）の8:30～17:15にボランティア活動に係る様々な相談、依頼を受けて需給調整をおこないました。また、月・水・金曜日の9:30～15:00は、ボランティアコーディネーターがボランティアセンターに常駐し、ボランティアに関する相談に応じました。なお、月1回ボランティアコーディネーターの会議を開き、ボランティア相談に関するケース検討等を行いました。

ボランティアセンター相談受付状況 (件)

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①活動希望	1	9	3	2	0	2	1	0	2	0	1	2	23
②ボランティア依頼	21	35	33	27	34	34	25	27	29	19	34	25	343
③情報収集	0	3	4	1	1	4	0	0	0	0	0	2	15
④その他	1	0	4	2	4	1	4	7	4	4	12	11	54
合計	23	47	44	32	39	41	30	34	35	23	47	40	435

②ボランティアニーズ需給調整

ボランティア活動依頼については、うきは市ボランティア連絡協議会加入団体や会員制互助組織（低額有償サービス）への斡旋等を行いました。

また、ボランティア活動や会員制互助組織で対応できないケースについては、シルバー人材センターやその他の機関へ連絡し対応していただきました。

ボランティア活動相談については、希望に応じて各機関と連絡調整をしながら、ボランティア参加を促しました。

ボランティア活動依頼内訳 (件)

内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外出	外出・旅行介助(ガイドヘルプ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	移送ボランティア	21	26	28	20	27	25	22	25	26	19	30	18	287
生活援助	家事援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小修理	0	4	1	4	3	4	1	1	1	0	2	4	25
	理容・美容カット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
友愛訪問	保育・遊び相手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	話し相手・安否確認	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3
	イベント手伝い・出し物披露	0	1	1	1	2	2	2	0	1	0	0	0	10
技能提供	朗読、点訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話、筆記通訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話、点字の指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他のボランティア		0	1	1	0	1	3	0	0	1	0	1	3	11
相談のみ		0	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
合計		21	35	33	27	34	34	25	27	29	19	34	25	343

③ボランティア保険加入促進

うきは市内でボランティア活動をおこなう方々に、安心してボランティア活動ができるように、ボランティア活動保険を紹介し、加入を促進しました。

ボランティア保険加入者数 965名

④ボランティア活動団体支援・助成

うきは市ボランティア連絡協議会には、複数のボランティア団体が登録していただいておりますが、それぞれの団体活動や運営が円滑におこなわれるよう、またその他のグループに対しても活動費の助成や活動支援をおこないました。(助成金額773,815円)

5/16 ボランティア連絡協議会総会、10/27 ボランティア連絡協議会役員研修（玉名市ボランティア連絡協議会視察研修）、1/21 ボラ連会員のつどいが行われ、活動支援を行っています。

うきは市では以下のような団体がボランティア活動をおこなっております。

うきは市ボランティアセンター登録・把握団体一覧表

H24年3月31日現在

団 体 名		会員数	活 動 内 容
うきは市ボランティア連絡協議会加盟団体	浮羽町日本赤十字看護奉仕団あいの会 (日赤介護講習修了者グループ)	101	高齢者（一人暮らし・老夫婦）とのふれあい食事会 手作り弁当配布 シルバー男性料理教室 デイサービスセンター美化活動 施設入所者訪問
	声のグループ うさぎ	10	視覚障害者の方に市情報（広報うきは、社協だより等）や物語を録音し届ける
	小修理ボランティア	4	高齢者世帯や障害者世帯を主として、水道関係・家屋補修および庭木の片付けなどを実施
	ハンディ移送サービスうきは 七施会	9	高齢者・障害者の移送サービス（会員制）
	ビューティボランティア	17	社協の福祉給食の配食活動、白鳥の家アルミ缶回収時運転
	舞踊ボランティア	2	寝たきり高齢者、障害者を主として訪問美容活動 (髪カット&パーマ)
	ハッピーかい	39	福祉施設への訪問活動 敬老会・子ども会・盆踊り大会などへの協力
	ともしび会	19	市内外の福祉施設や市内のよりあいでのセラピューティックケア、 ハンドケアの実施
	点筆の会	7	視覚障害者の方に市情報（広報うきは、社協だより等）や物語を録音し届ける
	かりん	6	視覚障害者の方に社協だよりや福祉情報、暮らしに役立つ情報を点訳し届ける
	うきはにわか会	13	よりあいの昼食づくり、一人暮らし高齢者交流会での調理協力 視覚障害者料理教室等協力、施設訪問
	ほほえみの会	4	よりあいや高齢者施設や病院でうきはにわか（方言を使う楽しい話芸）を披露している
			24
団体・グループ：13 会員数：255名			
把握団体	うきうき福祉サービス	4	高齢者世帯や障害者世帯を主として家屋小修理・家事援助（除草作業・庭木の剪定など）（会員制）
	子育てサポート菜の花	25	一時預かり保育
	うきは市手話の会	27	聴覚障害者の社会コミュニケーション保障と通訳者の養成
	おはなし会かきの木	16	幼児・児童・高齢者などへの読み聞かせや日本伝統芸能の紹介
	傾聴ボランティアやまびこの会	5	高齢者施設、病院等での傾聴・交流
	ボランティアグループうきうき会	28	公民館等において高齢者を対象に軽い体操を実施
	うきは市食生活改善推進会	80	地域における食生活改善普及の徹底と実践活動
	団体・グループ：7 会員数：185名		
個人	運転ボランティア	8	社協の福祉給食の配食活動
	よりあいコーディネーター	28	市内でのよりあいで、健康体操、手遊び、ゲームなどの指導支援
	個人登録ボランティア	18	ボランティアセンター個人登録者
		個人：54名	
活動者合計		団体・グループ 20 (440名) 個人：54名	

⑤ ボランティア活動資材の購入・貸出

様々なボランティア活動のニーズに対応するため、また、よりよいボランティア活動を推進していくために必要な資材等を購入し、推進に努めました。

⑥ よりあいコーディネーター派遣事業

よりあい開催区より指導依頼のあった場合、よりあいコーディネーターに依頼して、派遣指導を実施していただきました。（よりあいコーディネーター登録者：個人 28名 団体 1団体）

【派遣実績】

(回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	9	15	22	25	12	11	19	20	14	14	22	19	202
団体	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	2	0	6

⑦よりあいコーディネーターフォローアップ研修

よりあいコーディネーターに登録いただいている方を対象に、指導力向上を目的に研修を行いました。

開催日	会場	参加者数	内容
5/20	うきは市総合福祉センター	16名	「遊具の紹介、ワークショップ」 うきは市社会福祉協議会
7/21	うきは市総合福祉センター	20名	「身近な道具を使ったレクリエーション ～指遊び、集団遊び、レクゲーム～」 みらいデイサービス職員・福岡県レクリエーション登録指導員 西野 巧見氏
9/20	うきは市総合福祉センター	21名	「心を伝える ～よりあいでのわかりやすく、ききとりやすい話し方」 フリーアナウンサー 鱈 しずこ氏
11/29	うきは市総合福祉センター	13名	「仲間とともに楽しむレクリエーション ～グループで楽しむレクリエーション～」 大川市レクリエーション協会副会長 甲 鶴子氏
1/31	うきは市総合福祉センター	21名	「レクリエーション遊具を使って楽しもう!! ～身近なものを使ったレクリエーションの数々～」 ヒューマンコミュニケーション研究所 所長 添田謙二氏
3/5	福岡国際会議場	15名	平成23年度いきいきサロンで元気な地域づくりセミナーに参加

⑧ボランティア講習会の開催

現在ボランティア活動をされている方、これからボランティア活動をはじめたい方を対象に、次のようなボランティア講習会を開催しました。

開催日	会場	参加者数	内容
7/4・11・19	総合福祉センター	延76名	傾聴ボランティア養成講座
8/17・19・23・26	総合福祉センター	延90名	障害児支援ボランティア養成講座
11/11	うきは自動車学校	27名	運転ボランティア講習会（安全運転講習会）
11/24	総合福祉センター	47名	災害ボランティア講座
2/24	総合福祉センター	12名	車いす体験講座

⑨ボランティア研修・つどい等への参加

ボランティアの資質向上を図り、他市町村ボランティアとの連携強化のため、次のつどいに参加しました。

開催日	会場	参加者数	内容
2/19	クローバープラザ（春日市）	29名	ふくおか"きずな"フェスティバル

⑩うきは市手話サークルへの支援

聴覚障害者への支援活動を行っている「うきは市手話の会」に、手話講習会や聴覚障害者との交流事業に活動費の助成をおこないました。

(3) ふれあいセンター・地区公民館福祉部、福祉会活動支援事業

ふれあいセンターや地区公民館福祉部活動について、担当職員を配置し、活動の支援、連絡調整などをおこないました。

①ふれあいセンター・地区公民館福祉部、運営費・活動費助成

〔ふれあいセンター運営費算定基準〕

世帯数区分	運営費（円）	該 当 地 区
0～500世帯	80,000	妹川 田籠 新川 小塩
501～1,000世帯	120,000	大石 山春
1,001～1,500世帯	160,000	福富（江南）
1,501～2,000世帯	200,000	（千年）（吉井）
2,001～2,500世帯	240,000	御幸

〔ふれあいセンター活動費算定基準〕

平等割り：各地区とも一律40,000円

分館数割り：一分館につき2,500円

世帯数割り：一戸につき100円

高齢率割り：うきは市の高齢率26.9%（H23.4.1現在）を基本値に100%として、各地区の高齢率比率を算出し、基本額80,000円から、その比率に応じて算出。

各地区のふれあいセンターに次の運営費・活動費を助成しました。(円)

	御幸	山春	大石	小塩	妹川	新川	田籠	福富	合計
運営費	240,000	120,000	120,000	80,000	80,000	80,000	80,000	160,000	960,000
活動費	425,100	257,300	278,300	186,900	162,700	200,300	152,800	283,200	1,946,600

※千年・江南・吉井校区の地区公民館福祉部については、規定により運営費については基準の1/4、活動費についても1/2をそれぞれ助成いたしました。(円)

	千年	吉井	江南	合計
運営費	50,000	50,000	40,000	140,000
活動費	166,400	168,650	142,650	477,700

※活動費は、各ふれあいセンターや地区公民館福祉部における福祉委員の研修、福祉レクレーション講習会、福祉大会、先進地・施設視察研修など、それぞれの地区活動に活用されています。

※この他、各事業活動に応じて、追加助成を別途おこなっております。(助成金額796,000円)

②ふれあいセンター・公民館福祉部連絡会

各ふれあいセンターや公民館福祉部の連携や情報交換をおこなうため、ふれあいセンター・公民館福祉部連絡会を開催しました。

【ふれあいセンター・公民館福祉部連絡会検討内容】

期日・回	検討・情報交換項目
第1回 5/24	<ul style="list-style-type: none"> 各センター・公民館役員の紹介 各ふれあいセンター・公民館福祉部平成22年度事業報告・平成23年度計画について うきは市社会福祉協議会地域福祉部門事業計画の概要について 校区福祉計画策定について 福祉小座談会開催協力について
第2回 11/1	<ul style="list-style-type: none"> 各ふれあいセンター・公民館福祉部中間報告 歳末たすけあい活動について うきは市人権フェスティバル共催事業について ボランティアセンターの紹介、社協パンフレット説明

③福祉会設置推進

9/26に福祉会役員とふれあいセンター・公民館福祉部役員を対象に「福祉会研修会」を行い、福祉会設置推進を図りました。

講師／栗木 剛氏 (mottoひょうご 事務局長)

テーマ／「地域における隣近所の助け合いをみんなで楽しくすすめるポイント」

④福祉会活動支援・助成

うきは市内に23福祉会がありますが、助成要望書の提出があった21福祉会について、活動費の助成をおこないました。

地区	福祉会名	設立年度	助成額(円)
大石地区	古川村福祉会	平成12年度	10,000
山春地区	保木区福祉会	平成12年度	10,000
山春地区	袋野区福祉会	平成12年度	10,000
山春地区	西長瀬区福祉会	平成12年度	10,000
山春地区	荒瀬・畑中区福祉会	平成12年度	10,000
御幸地区	川原町区福祉会	平成13年度	10,000
妹川地区	櫻ヶ平区福祉会	平成13年度	10,000
御幸地区	旭町区福祉会	平成13年度	10,000
山春地区	三春原福祉会	平成14年度	10,000
大石地区	東の6区福祉会	平成15年度	0
大石地区	中鶴区福祉会	平成15年度	10,000
大石地区	糸丸区福祉会	平成15年度	10,000
山春地区	大野原区福祉会	平成16年度	0

地区	福 社 会 名	設立年度	助成額 (円)
大石地区	東の4・5区福祉会	平成17年度	10,000
大石地区	東の1・2・3区福祉会	平成17年度	10,000
大石地区	古川町区福祉会	平成17年度	10,000
山春地区	川箆石区福祉会	平成18年度	10,000
御幸地区	朝田原区福祉会	平成20年度	10,000
御幸地区	中町区福祉会	平成20年度	10,000
御幸地区	御幸通区福祉会	平成20年度	10,000
御幸地区	浮羽区福祉会	平成21年度	10,000
大石地区	西高見(西の1・2・3・5)福祉会	平成21年度	10,000
大石地区	西の4区福祉会	平成22年度	10,000
計	23福祉会		210,000

助成金については、基本助成として10,000円を、活動応分助成として実績を審査の上で追加助成をします。

また、よりあい開催費については、別途よりあい活動助成をおこなっておりますので、福祉会活動助成には入りません。なお、福祉会は、福祉問題調査活動を終えて福祉会規約を作成し、年間の活動計画・予算等を整備した区(地区)に助成をおこなっております。

⑤福祉小座談会の開催

区の役員(区長、分館長、福祉委員、民生委員等)の皆様と地域で悩みごと、困りごとを持っておられる方の支援について、一緒に話し合いを行う福祉小座談会を開催しました。

・開催区/5ヶ所 65区

地区	期日	実施区名	参加者数
大石校区	5/30	東の4・5区	20名
	6/24	西の1区	7名
	8/23	西の5区	5名
御幸校区	5/13	大崎区	10名
	5/16	千足三丁目区	11名
	5/19	千足一丁目	6名
	5/25	西町区	3名
	5/29	松本区	5名
	6/1	川原町区	8名
	6/5	宮本区	10名
	6/6	小坂区	3名
	6/8	朝田原区	9名
	6/9	中町区	5名
	6/10	千足新町区	5名
	6/19	上・下流川区	9名
	6/21	今川通区	10名
	6/25	隈の上区	5名
	6/27	千足二丁目区	6名
	7/2	本町区	5名
	7/5	浮羽区	6名
	7/10	一の瀬新町区	5名
	7/10	吉江区	5名
	7/11	千足四丁目区	5名
7/14	旭町区	9名	
7/15	千足五丁目	6名	
7/25	東町区	5名	
8/23	御幸通区	15名	
福富校区	6/26	東福益区	12名
	7/5	安富区	7名
	7/10	北福益区	6名
	7/12	東屋形区	8名
	7/13	八竜区	9名
	7/19	冠区	7名
	7/23	東延寿寺区	8名
	8/8	西延寿寺区	8名
	8/20	東屋部・西屋部区	6名
8/26	千代久区	11名	

※なお、妹川・江南地区においては、地区活動計画策定にあたり、ふれあいセンター・公民館福祉部主催で別に妹川5区、江南19区全区で小座談会が開催されました。

地区	期日	実施区名	参加者数
山春校区	7/30	川籠石区	7名
	7/31	北原区	6名
	9/1	上組・吉広・下組区	3名
	10/21	西長瀬区	9名
	10/29	三春原区	4名
	11/2	袋野区	6名
	11/8	中園区	5名
	11/9	原口区	7名
	11/12	大野原区	4名
	12/27	国本区	6名
	2/9	荒瀬・畑中区	6名
	2/14	保木区	5名
	2/16	東長瀬区	5名
	2/25	古賀区	6名
新川地区	3/7	新川地区	6名
計		52ヶ所、65区	365名

⑥よりあい活動支援

活動報告書の提出があった以下のよりあい活動に対して、活動費の助成をおこないました。

開催回数／294回 開催区数／82区

参加内訳：高齢者／4,542名 世話人／1,371名 その他／623名 参加者計／6,536名

地区	開催区/行政区	高齢者	世話人	その他	参加者計	開催数
妹川校区	2/5	238	85	91	414	15
新川地区	1/8	49	5	1	55	4
田籠地区	0/1	0	0	0	0	0
小塩校区	3/4	352	69	46	467	31
山春校区	14/17	595	247	114	956	42
大石校区	17/18	532	251	68	851	28
御幸校区	22/28	1,323	452	146	1,921	62
千年校区	6/20	537	69	63	669	36
福富校区	8/15	370	84	45	499	31
吉井校区	4/23	192	57	12	261	21
江南校区	5/19	354	52	37	443	24
計	82/158	4,542	1,371	623	6,536	294

※なお、よりあい活動を実施していても助成の必要がなく、活動報告書を提出していない区もあります。
また、よりあいの手引き書を、福祉委員や民生委員等関係者に配布し、推進を図りました。

(4) 地区活動計画策定支援

よりきめ細やかに校区単位で福祉を進めていただくために、地区地域福祉活動計画策定の推進を行い、今年度はふれあいセンター妹川と江南公民館福祉部が策定に取り組んでいただき、3月に地区地域福祉活動計画ができあがりました。今後、この計画に基づき、活動が推進されるよう支援をしていきます。

(5) 民生委員児童委員活動の支援・助成

地域における福祉活動の推進役である民生委員活動の推進を図るため、地域の福祉委員等との情報交換、連携を図ることを目的とした地区懇談会の開催に対して支援・助成を行いました。

・助成実施行政区 46行政区 参加者 172名（民生委員、福祉委員、区長、ボランティア等）

9. 共同募金配分金事業

(1) 高齢者への支援

①よりあい遊具無料貸出

各区でのよりあい活動等に対して、福祉レクリエーション遊具の無料貸出をおこないました。

・平成23年度貸出 総数 133件

②金婚祝福の会

結婚50周年を迎えられたうきは市内に居住の方を対象に、金婚祝福の会をおこないました。

開催日／10/14（金） 会場／JAにじ総合会館アルカス 該当者／68組

祝宴参加者／55組（104名）

③老人クラブ連合会活動支援・助成

老人クラブ連合会について、担当職員を配置し、活動の側面的支援を行うほか、活動助成金を支出しました。

団体名	助成金額	助成活動
うきは市老人クラブ連合会	1,018,043円	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者相互支援活動 ・パークゴルフ大会、グラウンドゴルフ大会 ・老人クラブ会報発行 ・新任会長研修、女性リーダー研修、幹部研修会 ・シルバー保安官用具補充

④一人金婚式の助成

妹川・御幸地区公民館主催により実施された一人金婚式に対し、助成を行いました。(34,500円)

⑤高齢者安心カード作成(個人情報記載携帯カード)

高齢者安心カードを作成するために、老人クラブを通じて概ね75歳以上の登録希望者の方に申込み記入用紙を配布、記入の後、124名の方の携帯用カードの作成と配布を行いました。

(2) 障害者・家族への支援

①障害者団体活動支援・助成

障害者(支援者)団体について、担当職員を配置し、団体活動の相談に当たるほか、活動助成金を支出しました。

団体名	助成金額	助成活動
うきは市障害者福祉協会	592,411円	<ul style="list-style-type: none"> ・部会活動(視覚障害者部会・聴覚障害者部会他) ・会員交流活動
うきは市知的障害者育成会	52,920円	・会員交流会
チャレンジド親の会	56,930円	・会員交流会
合計	702,261円	

②障害者福祉情報の提供

ふくしのかわら版にて、障害者に関する団体の活動情報や福祉サービスに関しての情報提供をおこないました。また、障害児啓発小冊子「子育て奮闘記」の作成・配布、人権フェスティバルにおいての電動車いす講習、パネル展示等で啓発に努めました。

③視覚障害者用録音物・郵便物貸出事業

市内の視覚障害者の方へ、朗読ボランティア(声のグループうさぎ、朗読ボランティアともしび会)の協力により、広報うきは、ふくしのかわら版を定期的に、また必要に応じて身近な情報をテープに録音し届けました。(利用者:8名)

また、市内の点字を利用している視覚障害者の方へ、点訳ボランティア点筆の会の協力により、福祉のかわら版など身近な情報を点訳し届けました。(利用者:8名)

④浮羽共同作業所活動支援・助成

精神障害者の共同作業所である、NPO法人みつば会「浮羽共同作業所」に対し、共同募金配分金より一般活動費として40万円を助成しました。

(3) 児童・青少年福祉に関する支援

①子育て支援団体助成

子育て支援に関わる各団体・組織に活動費および備品購入費の助成をおこないました。

名称	助成額	名称	助成額
育児サークルちびっこ広場	29,875円	吉井学童保育所	30,000円
育児サークルひよこくらぶ	1,111円	福富学童保育所	30,000円
うきは子育てサポート菜の花	30,000円	大石学童保育所	29,948円
遊林学童保育所(遊林クラブ)	30,000円	久留米児童相談所管内施設連絡協議会	3,000円
江南学童保育所	26,200円		
千年学童保育所	30,000円	合計	240,134円

②子ども用遊具貸出

各子育て支援団体等に必要遊具を貸し出ししました。

③母子・父子福祉活動事業

23年度に小学校に入学するお子さん（母子・父子家庭）に対して、新入学お祝いとして、学用品を送りました。（新入学児童数：26名）

④母子寡婦福祉会活動支援・助成

うきは市母子寡婦福祉会について、担当職員を配置し、団体活動の相談に当たるほか、活動助成金を支出しました。

団体名	助成金額	活動概要
うきは市母子寡婦福祉会	553,553円	・親子バスハイク（会員交流） ・若年母子研修会 ・寡婦研修会 ・野球観戦（会員交流）

⑤子育て支援情報の提供

ふくしのかかわら版にて、母子寡婦福祉会や子育て支援グループ、地域子育て支援センターの活動に関する情報提供を行いました。

また、子育て情報紙（当事者が取材、編集）を5月、10月に発行しました。

⑥水生生物による簡易水質調査

子供たちに自分たちが住んでいる地域の河川環境に目を向けてほしいとの願いから、筑後川河川事務所との共催により小学生を対象に公募し、うきは市内を流れる巨瀬川において水生生物による簡易水質調査を実施しました。

実施日 8/4 日向橋（浮羽町妹川） 参加者 27名

⑦育児用品リサイクル事業への協力

多くの市民の皆様により育児用品の寄贈を頂きました。点検は社協・ボランティアセンターでおこない、保管・貸出については総合福祉センター2階子育て支援センター「子ども交流室」にて実施しました。

⑧うきは絆プロジェクトへの協働

うきは警察署より、軽犯罪を犯した少年少女達の立ち直り支援として、ボランティア活動参加や地域行事の協力などできないかと相談を受け、社協、ボランティアセンター、防犯委員、地域の方々とともに少年達とボランティア活動・地域活動を行いました。

また、ボランティア活動の際に子ども達が東日本大震災の避難被災者と接することで、何かできないかと考え、きずな農園を開園して農作物を作りその農作物で豚汁を料理して、耳納の里にてチャリティ活動を展開し、東日本大震災への義援金募金を行いました。

(4) 福祉教育に関する事業

①福祉教育指定校連絡会

各学校での福祉教育活動の情報交換を行うために、福祉教育指定校連絡会を開催いたしました。（福祉教育指定校連絡会開催日 5月31日、3月21日）

②福祉教育指定校助成

市内の全小中学校に対して、福祉教育指定校として福祉教育を推進するための活動費助成金（@ 70,000円×12校）を交付しました。また、今年度より新たに浮羽究真館高等学校を指定し、50,000円を交付しました。

③福祉体験学習の支援

学校からの依頼を受けて、児童を対象に車イス、点字体験を実施。ゲストティーチャー等の斡旋も行いました。（御幸小学校、江南小学校、吉井小学校、千年小学校）

④福祉教育読本の配布

福岡県社協が編集作成している、福祉教育読本「ともに生きる」を福祉教育教材として市内全小学校の5年生に1冊ずつ配布しました。

(5) 住民全般に関する事業

①社協だよりの発行

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の生活問題に関する事などを、うきは市民の皆さまにお伝えするために、毎月15日に「ふくしのかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

②福祉委員だよりの発行

福祉委員の活動内容や福祉委員から地域の高齢者に伝えて欲しい情報などをお伝えするために、毎月1日に「福祉委員のかわら版」を発行し、全福祉委員および各区長、分館長、民生委員児童委員に配布しました。

③赤い羽根だよりの発行

赤い羽根共同募金および歳末たすけあい募金の、協力実績や活動実績を市民の皆さんへお知らせするために、「赤い羽根だより」を発行し、全戸に配布しました。(年1回)

④地域憩いの広場施設整備・補修の助成

地域の憩いの広場に新規に設置する遊具や施設の補修等に対し助成を行います。23年度は申請がありませんでした。

⑤ホームページの開設・情報定期更新

定期広報誌については発行に併せて月2回更新を行いました。ホームページ中のカレンダーには、随時、社協事業など新鮮な情報を掲載しました。また、ユーザビリティに配慮し、どなたにも見やすい様に23年度、大幅にリニューアルをおこないました。

⑥福祉用具無料貸出

在宅で介護をおこなってられる方々を支援するために、社協保有の福祉用具の貸出を行いました。

貸出用具	貸出件数	貸出用具	貸出件数
車いす	107	シルバーカー	2
介護用ベッド	19	松葉杖	1
ポータブルトイレ	17	杖	1
シャワーチェア	4	防犯カメラ	1
歩行器	2	合計	154

⑦福祉車両の無料貸出

普通の車での外出移動が困難な方へ、社協の福祉車両を無料貸出しました。(但し、燃料費自己負担)
・平成23年度 延利用件数39件

(6) 災害緊急支援活動に関する事業

①災害ボランティアセンター整備

もしもの災害に備えて活動に必要な物品の一部(工具セット)を整備しました。

また、大規模災害時の支援を円滑に行うため、うきは市及び両筑地区管内(6社協)との間でそれぞれに協定を結びました。

- ・両筑地区社会福祉協議会災害時相互支援協定(5/20)
- ・うきは市災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定書(9/26)

②災害ボランティアセンター活動マニュアル策定

市より災害ボランティアセンターの設置要請があった場合、速やかにセンターを設置し、運営ができるようマニュアルの策定をおこないました。策定に当たっては、各課職員からなる、災害ボランティアセンター活動マニュアル策定プロジェクト委員会を設置しました。

委員会開催回数	期日	内容
第1回委員会	11/4	うきは市災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定書について、他の参考マニュアルについて、策定の手順、委員の役割分担について
第2回委員会	11/9	前回の説明・まとめ、研修「災害ボランティアセンターについて」、策定の進め方について
第3回委員会	11/16	前回の説明・まとめ、災害ボランティアセンター設置マニュアルに掲載する内容の検討
第4回委員会	11/28	前回の説明・まとめ、各班の仕事内容と必要な物品・備品について
第5回委員会	12/1	前回の説明・まとめ、各班の仕事内容と物品・備品について、災害ボランティアセンター受付様式等について
第6回委員会	12/13	前回の説明・まとめ、災害ボランティアセンター一日の流れについて、関係機関の連絡先について
第7回委員会	12/21	前回の説明・まとめ、災害ボランティアセンター運営方針、目次
第8回委員会	1/10	前回の説明・まとめ、災害ボランティアセンター活動マニュアル全体の見直し

③災害ボランティア養成・訓練

うきは市主催の田籠区避難行動訓練が9/4に行われ、職員が参加しました。

また、11/24に総合福祉センターにて災害ボランティア講座を行い、うきは市ボランティア連絡協議会会員と職員47名が参加し、災害ボランティア設置訓練を行いました。

また、下記のような災害関係研修会に職員が参加しました。

期日	場所	内容	参加者
4/24	ウエルとばた（北九州市）	「被災者主体の災害ボランティアコーディネーションを考えるつどい in 北九州」	職員2名
4/27	クローバープラザ	災害時における社協の役割を学ぶ研修会	職員3名
8/9・10	全社協（東京都）	平成23年度社協ボランティア・市民活動セミナー担当職員研究セミナー	職員2名
8/26	大野城市社協	県地域福祉活動職員連絡会研修会「東日本大震災から約半年 被災地の現状と今後」	職員3名
2/4・5	鳥栖市ホテルピアントス	第5回九州社協職員合同研究会議（「災害と社協」～東日本大震災からの一年・そしてこれから～）	職員8名

(7) たすけあい援護金品の支給に関する事業

①要支援・低所得世帯に対する無償野菜・お米等の配達訪問

市内企業様よりご寄付いただいた野菜を毎週月・金曜日の夕方にいただき、市内在住の要支援・低所得世帯に安否確認を兼ねた配達を行いました。また、市民の皆様からご寄付いただいたお米もあわせてお配りしました。

区分	対象	延べ回数	備考
低所得世帯	9	192	
障害世帯	12	361	
生保世帯	14	97	保護開始前、停止後の支援も実施
母子世帯	9	286	
その他	2	67	医療機関等
合計	46	1,003	

②火災等災害被災者へのお見舞い

火災の災害に遭われた市民の方に対し緊急にお見舞いとし寝具一式を贈りました。

・件数：1件

(8) 歳末たすけあい配分事業に関すること

①年末見舞金

※年末見舞金として次の方々に取り次ぎしました。（見舞金総額：2,596,000円）

援護の必要な世帯	51世帯	1,206,000円	遺児	5名	50,000円
長期在宅療養・認知症の方	38名	380,000円	両親の扶養のない児童	3名	30,000円
在宅重度障害者（児）	93名	930,000円			

②年末年始援助活動

※年末年始援助活動費として次の事業に助成金を交付しました。(事業費総額：1,748,049 円)

①福祉施設歳末行事 (3 施設) 老健うきは、浮羽学園、ワークサポート白鳥の家	100,000 円	⑥子育て支援活動	261,422 円	
②一人暮らし高齢者等見守り訪問活動 要援護世帯へのカレンダー配布	445,290 円	うきは市適応指導教室キーノート「クリスマス会・年末餅つき会」 御幸学童保育所 (うきうきクラブ)「クリスマス会」 大石学童保育所 (ラビットクラブ)「クリスマス会」 江南学童保育所 (キラキラルーム)「クリスマス会」 福富学童保育所「クリスマス会」 吉井学童保育所 (にここクラブ)「クリスマス会」 子育てサークルちびっこ広場「クリスマス会」 子育てサークルひよこくらぶ「クリスマス会」 グループいろり「みんなでハッピークリスマス～サンタが街にやってきた～」 千年学童保育所 (ひまわりクラブ)「クリスマス会」		
③正月用おもち配布活動 吉井幼稚園・吉井地区民児協によるお餅配布 (292 名) 少林寺拳法浮羽道院によるお餅配布 (53 世帯 81 名)	77,267 円	⑦年賀状配布事業	2,100 円	
④地域交流活動事業 吉井幼稚園「浮羽老人ホーム慰問」 不登校・ひきこもり親の会 (みつばちの会)「クリスマス会」 うきは市手話の会「クリスマス交流会」 チャレンジド親の会「障害のある子どもたちと家族の交流会」 ハッピーかい「福祉施設利用者やよりあい参加者との交流」	134,434 円	吉井幼稚園による一人暮らしの方への年賀状配布 (42 通)		
⑤ふれあいセンター等歳末援助活動 ふれあいセンター田籠・新川・小塩・妹川・山春・大石・御幸・福富 千年・吉井・江南公民館福祉部	727,536 円			

10. 資金貸付事業

民生委員児童委員が低所得世帯等の更生指導をおこなう資源として、資金貸付制度の運用をおこないました。資金の貸付にあたっては、貸付調査委員会の意見・答申のもとに行いました。

貸付調査委員会

回数	期日	会場
第1回	4/14	うきは市総合福祉センター
第2回	5/13	うきは市総合福祉センター
第3回	8/5	うきは市総合福祉センター
第4回	11/7	うきは市総合福祉センター
第5回	12/16	うきは市総合福祉センター
第6回	1/17	うきは市民センター
第7回	2/9	うきは市総合福祉センター
第8回	3/8	うきは市総合福祉センター

(1) 生活福祉資金貸付事業 (県社協より事務委託)

【平成23年度貸付】 (件)

資金種類	23 年度取扱い分	うち 23 年度新規
総合支援資金	5	0
福祉資金	9	0
緊急小口資金	6	2
教育支援資金	49	11
不動産担保型生活資金	1	0
計	70	13

【初回相談件数】

相談内容	件数
生活費等	52
教育費	37
その他 (問い合わせ)	10
計	99

(2) 援護資金貸付事業

【平成23年度状況】

区分	年度当初償還残額	件数	年度内貸付額	件数	年度内償還額	年度末償還残額	件数
前年度以前貸付	707,236 円	14			495,000 円	187,236 円	7
年度内貸付			540,000 円	12	294,000 円	246,000 円	3
合計	707,236 円	14	540,000 円	12	789,000 円	433,236 円	10

※上記の外に、1 件元金 25,000 円、1 件過年度延滞利子 55,421 円の償還免除あり。

(3) 育英奨学資金貸付事業

社協独自の育英奨学金として、低所得世帯の生徒に対し高等学校への修学資金を貸し付けていますが、23 年度の新規採用者はありませんでした。

【育英奨学資金償還状況】

区 分	年度当初償還残額	件数	年度内償還額	件数	年度末償還残額	件数
分割貸付完了分	1,838,900 円	7	652,800 円	7	1,185,400 円	6

1 1. 家族介護支援事業

家庭で寝たきりや認知症高齢者を介護している家族の支援を行いました。

①在宅介護者家族の会「コスモス会」活動支援・助成

実施日	行事内容	参加者数
4/19	役員会	6名
5/10	役員会	6名
5/19	総会、交流会	22名
6/14	役員会	6名
7/12	定例会（介護料理教室） 講師：栄養士 家永景子氏 役員会	14名
8/2	定例会（介護教室） 講師：日本赤十字社福岡支部 役員会	12名
9/1	定例会（応急処置講座） 主催：福岡県社会福祉協会 役員会	8名
9/3	定例会（家庭介護介助者養成講座） 主催：福岡県市町村振興協会	9名
9/10	定例会（家庭介護介助者養成講座） 主催：福岡県市町村振興協会	9名
10/11	定例会（介護保険制度、成年後見制度について） 講師：地域包括支援センター 役員会	9名
11/9	定例会（認知症について知ろう） 講師：医師 末次基洋氏 役員会	16名
12/2	定例会（介護料理教室） 講師：調理ボランティア かりん 役員会	17名
1/10	役員会	6名
3/13	役員会	6名
合計		146名

②うきは市在宅介護者のつどい

期日	内 容	参加者数
2/14	在宅介護者のつどい リフレッシュ日帰りの旅 場所：北野温泉ぽっかぽかの湯	18名
合 計		18名

1 2. 移送サービス支援事業

会員制の移送支援グループ「ハンディ移送サービスうきは」に、社協公用車を貸与し、送迎サービスを実施していただきました。

送迎用の車輛は、軽シートアップ車、軽車イス対応車、介護車から選択することができます。なお、どの車輛も車椅子を折りたたんで運ぶことができますが、軽車イス対応車については、車椅子に乗ったままの移送が可能です。（利用無料、活動協力費を社協助成）

【ハンディ移送サービス利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	19	17	17	18	19	19	19	18	21	16	17	16	216
内 訳	独居高齢者	8	9	7	8	9	9	8	9	8	4	6	94
	高齢者世帯	3	2	2	4	3	3	3	4	3	4	4	38
	身体障害者	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	25
	視覚障害者	3	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	24
	知的障害者	1	0	2	0	1	1	1	1	2	1	3	14
	内部障害者	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1
移送件数	44	36	43	45	43	44	43	39	37	30	30	30	464
内 容	通院送迎	41	36	43	45	43	44	43	39	37	30	30	461
	買い物	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
利用時間（時間）	83.0	67.5	75.0	93.0	90.0	81.5	80.0	83.5	84.5	63.0	66.0	62.0	929
走行距離（km）	932	722	775	1108	1025	983	940	920	983	812	814	781	10,795

III 在宅福祉サービス事業部門

1. うきは市ケアプランサービスセンター

- 営業日／月～金曜日（但し、国民の休日、12／29～1／3を除く）
- サービス提供時間／午前8時30分～午後5時15分
- 職員体制／介護支援専門員5名（内、兼務職員2名）

(1) 居宅介護支援事業：要介護認定者のケアプラン作成

居宅支援計画作成実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
作成件数	95	98	99	103	102	97	97	98	99	99	92	95	1,174	97.8

(2) 受託事業

① 特定高齢者把握事業（市受託事業）

- ※市の要請により、介護福祉士等の有資格者が高齢者宅を訪問。高齢者の実態を把握し、市へ報告し、特定高齢者の選定につなげるとともに、必要に応じて相談窓口へつなぎ、問題の解決にあたりました。
- ・年間把握件数 32件（H23.4月のみ）

② 介護予防支援事業（福岡県介護保険広域連合受託事業）

- ※要支援認定者の予防プラン作成

予防プラン作成実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
作成件数	11	12	12	13	14	13	13	15	16	17	17	20	173	14.4

2. うきは市ヘルパーステーション

- 営業日／年中無休（但し、12／31、1／1を除く）
- サービス提供時間／午前7時～午後9時
- 職員体制／ホームヘルパー12名

(1) 介護保険事業

- ・介護予防訪問介護事業：要支援認定者へのヘルパー派遣
- ・訪問介護事業：要介護認定者へのヘルパー派遣

介護予防訪問介護及び訪問介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
介護予防	利用者数	25	28	26	26	27	25	24	29	27	27	26	22	312	26.0
	回数	180	187	197	177	172	173	151	181	163	154	145	139	2,019	168.3
訪問介護	利用者数	31	31	32	35	33	32	31	28	29	30	29	31	372	31.0
	回数	542	516	540	588	485	493	582	547	485	474	519	581	6,352	529.3
合計	利用者数	56	59	58	61	60	57	55	57	59	57	55	53	684	57.0
	回数	722	703	737	765	657	666	733	728	648	628	664	720	8,371	697.6

(2) 障害者自立支援事業

① 居宅介護

- ※介護保険での訪問介護事業と併せて実施。障害者へのヘルパー派遣。

障害者居宅介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	15	13	15	15	15	13	14	16	16	16	17	17	182	15.2
利用回数	180	174	203	199	201	193	211	244	233	216	226	252	2,532	211.0

(3) 受託事業

① 生活管理指導員派遣事業（市受託事業）

- ※介護保険認定外者で、日常生活を営むのに支障がある独居高齢者等に対し、生活管理指導員（ヘルパー）を派遣し、日常生活上の援助を行い、自立した生活を可能にし、要支援・要介護状態への進行防止に努めました。

生活管理指導員派遣事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	6	6	6	5	7	7	8	8	9	9	9	9	89	7.4
利用回数	24	21	27	21	24	31	29	35	36	34	38	34	354	29.5

②移動支援事業（市受託事業）

※介護保険での訪問介護事業と併せて実施。障害者の外出支援（ガイドヘルプ）

障害者移動支援事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	2	2	2	2	2	2	2	4	3	3	2	3	29	2.4
利用回数	17	18	11	7	12	11	11	18	14	4	4	21	148	12.3

③母子家庭等日常生活支援事業（市受託事業）

※日常生活を営むのに支障が生じている母子家庭に、家庭生活支援員（ヘルパー）を派遣して、生活を支援します。

- ・利用実人員 1 名 延べ利用回数 9 回 (H24.2 月～3 月)

(4) 独自事業（制度外サービス事業）

①暮らし安心サービス

※利用者や介護支援専門員の要望を受けて、介護保険事業である訪問介護並びに障害者自立支援事業である居宅介護では、対象とならない身体介護・生活援助サービスを提供し、在宅生活を支援しました。

□利用者負担／1 回当たり

30 分未満	30 分以上 1 時間未満	1 時間以上 1 時間半未満	1 時間半以上 (30 分増す毎に)
800 円	1,600 円	2,400 円	800 円

暮らし安心サービス事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	11	11	13	13	9	12	11	9	8	8	8	8	121	10.1
利用回数	40	45	56	74	42	58	59	38	34	58	54	63	621	51.8

3. うきは市デイサービスセンター

□営業日／年中無休（但し、8 / 14・15、12 / 31～1 / 3 を除く）

□サービス提供時間／午前 9 時 30 分～午後 4 時（時間延長にも対応）

※センター専用調理室で、昼食とおやつを提供

調理員 4 名（内、兼務職員 1 名）、献立：管理栄養士（兼務職員）

(1) 介護保険事業

①介護予防通所介護事業

※要支援認定者へ運動器機能訓練、口腔機能訓練等のサービスを実施し、要介護状態とならないように努めました。

②通所介護事業

※要介護認定者へ個別機能訓練、口腔機能訓練等のサービスを実施し、要介護状態の悪化防止に努めました。

□1 日の職員体制／職員 8 名（管理者、生活相談員、看護職員、介護職員、機能訓練指導員、歯科衛生士）※介護予防通所介護事業と一体的に実施。

③認知症対応型通所介護事業

※認知症専用の通所介護施設として、日常動作訓練、レクリエーション等のサービスを実施し、認知症の方の介護並びに進行防止に努めました。

□1 日の職員体制／職員 4 名（管理者、生活相談員、看護職員、介護職員、機能訓練指導員、歯科衛生士）

④介護予防訪問入浴介護事業

※要支援認定者の自宅を、移動入浴車で訪問し入浴介助。

⑤訪問入浴介護事業

※要介護認定者の自宅を、移動入浴車で訪問し入浴介助。

- ・1 回の職員体制／看護職員 1 名と介護職員 2 名。

※介護予防訪問入浴介護事業と一体的に実施。

うきは市デイサービスセンター介護保険事業実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	
通所介護	要支援	利用者数	28	27	28	28	27	27	29	33	31	32	31	28	349	29.1
		利用回数	173	162	180	180	192	227	213	216	191	201	202	201	2,338	194.8
	要介護	利用者数	33	32	33	36	33	30	29	31	29	31	28	32	377	31.4
		利用回数	404	402	399	399	409	387	405	441	432	376	379	418	4,851	404.3
認知症デイ		利用者数	9	8	8	6	5	6	7	8	8	7	10	90	7.5	
		利用回数	121	98	92	78	64	76	91	93	88	95	90	1,103	91.9	
訪問入浴	要支援	利用者数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
		利用回数	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0.6
	要介護	利用者数	10	8	8	8	9	7	5	5	6	5	6	7	84	7.0
		利用回数	40	38	39	40	32	30	22	25	26	23	28	33	376	31.3

(2) 受託事業

① 生きがい活動支援通所事業 (市受託事業)

※介護保険認定外者の高齢者に対し、要支援・要介護状態とならないようにサービスを提供しました。
介護保険での通所介護事業と併せて実施。

・利用者負担／1回 1,000円 (昼食、おやつ、入浴、送迎付)

生きがい活動支援通所事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	18	23	23	22	22	21	21	20	20	20	20	20	250	20.8
利用回数	18	91	97	77	91	83	78	88	82	70	81	77	933	77.8

② 身体障害者訪問入浴サービス事業 (市受託事業)

※介護保険での訪問入浴介護事業と併せて実施。障害者世帯に移動入浴車で訪問し入浴介助。

身体障害者訪問入浴サービス事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	23	1.9
利用回数	14	12	5	10	9	13	14	12	14	12	11	14	140	11.7

(3) 独自事業 (制度外サービス事業)

① 認知症高齢者ナイトケア事業 (うきは市デイサービスセンター)

※利用者家族からの要望を受けて、介護保険事業である短期入所生活介護 (ショートステイ) 以外の取り組みとして、夜間預かりを実施しました。

□利用者負担／ナイトケア代 (1泊) 2,000円、食事代 (夕食・朝食) 500円

認知症高齢者ナイトケア事業実績

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
1泊2日	3	1	2	0	1	1	4	8	2	2	3	5	31	2.6
2泊3日	0	0	0	1	0	0	0	1	1	2	0	1	6	0.5
3泊4日	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3	0.3

② あったか宅配サービス (うきは市デイサービスセンター)

※利用者、市の要望を受けて、市の「食の自立支援事業」を利用していたが、中止となった方や申込みをしたが、該当しなかった方で、食の確保が必要と認められた方に、月曜日から土曜日、昼食と夕食を配食。配食時は、健康状態や安否の確認をしました。

・利用者負担／1食 500円

あったか宅配サービス事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	16	15	15	14	14	14	14	14	14	13	12	12	167	13.9
利用回数	273	301	285	267	280	249	225	224	236	201	209	259	3,009	250.8

4. 福祉給食センター (市役所西別館)

(1) 食の自立支援事業 (市受託事業)

日曜日を除く毎日 (但し、8 / 14・15、12 / 30～1 / 3を除く) 昼食と夕食を調理し、健康確認や安否確認をしながら配食しました。

今年度は、市の対象者緩和措置の実施もあり、昨年度より対象者数、配食者数共に大幅に増加しました。

□利用者負担／1食 400円 (但し、生活保護受給者は1食 300円)

- 活動体制／調理：給食員 3 名
 献立：管理栄養士（兼務職員）
 配食：給食員とボランティア

□配食コース／3月：昼食 3 コース、夕食 5 コース（内、ボランティア 3 名）

食の自立支援事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	70	74	76	77	82	79	84	88	95	88	88	97	998	83.2
実施日数	26	26	26	26	26	26	26	26	25	24	25	27	309	25.8
配食数	昼食	802	870	882	969	993	1,066	1,128	1,071	953	1,084	1,143	11,949	995.8
	夕食	1,418	1,484	1,517	1,580	1,574	1,608	1,757	1,824	1,736	1,609	1,813	19,956	1,663.0
	合計	2,220	2,354	2,399	2,549	2,567	2,596	2,823	2,952	2,807	2,562	2,897	31,905	2,658.8
日平均	昼食	30.8	33.5	33.9	37.3	38.2	38.0	41.0	43.4	42.8	39.7	43.4	42.3	38.7
	夕食	54.5	57.1	58.3	60.8	60.5	61.8	67.6	70.2	69.4	67.0	72.5	75.4	64.6
	合計	85.4	90.5	92.3	98.0	98.7	99.8	108.6	113.7	112.3	106.8	115.9	117.7	103.3

5. ワークサポート 白鳥の家

身体障害者小規模通所授産施設「白鳥の家」では、各種作業や販売、地域行事（各地区福祉大会等）への参加を通して、利用者の社会生活の促進、社会活動への参加、就労に向けての支援となるよう事業を展開しました。

そして、平成 23 年 10 月 1 日、障害者自立支援法に基づく多機能型の障害者就労支援事業所として、就労移行支援事業と就労継続支援事業 B 型の指定を福岡県から受け、「ワークサポート 白鳥の家」として新たなスタートを切りました。

また、新体系への移行にあわせて、福岡県の助成を受け、新作業棟の建設、パン販売車両の整備、電話・パソコン等事務機器の整備を就労支援事業の充実に向けた基盤整備を行いました。

今後もより一層、障害者が気軽に集える場、交流の場、仕事の場、そして就労という自立に向けた架け橋の場となるよう努めると共に、地域の皆様の集いの場となるよう頑張っていきます。

□開所日 月～金曜日（但し、国民の休日及び 8 / 15、12 / 29～1 / 3 を閉所）

□開所時間 午前 9 時～午後 4 時

□指導体制 管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名
 就労移行支援事業：生活支援員 1 名、職業指導員兼就労支援員 1 名
 就労継続支援事業 B 型：生活支援員 1 名、職業指導員 2 名

□定員 就労移行支援事業 6 名、就労継続支援事業 B 型 15 名

□年間延通所者数 4,636 名

□主な訓練・活動（作業）内容

*就労移行支援事業：

- ・就労に必要な知識、能力を向上させるために必要な訓練（面接訓練、履歴書作成訓練）
- ・生産活動（下請け作業、名刺作成など）
- ・職場実習、トライアル雇用の支援（実習先の開拓、実習先訪問）
- ・求職活動支援（ハローワーク登録）
- ・職場定着支援（就職した利用者の職場訪問、相談対応）

*就労継続支援 B 型事業：

- ・日常生活に必要な知識、能力を向上させるための訓練（生活習慣、清潔保持）
- ・就労の機会の提供及び生産活動
- ・生活相談

作業名・作業場	作業内容
業者下請け作業	袋紐通し等
アルミ回収作業	ボランティア、市民の皆様にご協力頂いています
自主製品の製作販売	牛乳パック再生椅子、小物作り
印刷作業	名刺印刷
スワンショップ	日用雑貨品の販売（企業や地域の皆様からの寄付物品を販売しています）
パンの家スワンベーカリー	パンの製造販売、喫茶ルーム
喫茶あひるの子	喫茶、パン販売

□主な行事

期 日	内 容
4/18	ボランティアグループあいの会食事会
5/16	「第1回家族のつどい」(うきは市障害者福祉施設連絡会主催)
6/25	ソフトバンク野球観戦(新日本様招待)
9/3	「豊ハウス産業」イベント出店参加
9/16～17	宿泊研修旅行 in 山口・福岡ドーム
10/7	赤い羽根街頭募金活動
10/8	御幸地区福祉大会出店参加
10/25	あったか五つ花交流グランドゴルフ交流会
11/6	山春校区福祉大会出店参加
11/12	介護の集い(うきは市主催)出店参加
11/13	大石校区といもっさい出店参加
11/21	ボランティアグループあいの会食事会
11/30	ミュージカル招待(うきは市民ホール)
12/6	観劇会 招待(うきは市民ホール)
12/8	障害者がつくる「まごころ製品」販売会(北筑後保険福祉環境事務所)
12/10	うきは市人権フェスティバル出店販売
H24. 1/16	交流会(ボランティアや日頃お世話になっている方を招待)
1/23	23年度中間収支事業報告会
1/27	新作業棟上棟式
3/16	避難訓練(自主)

6. 関係機関との連絡調整

- *うきはブロック介護サービス事業連絡会(市内介護サービス事業所で組織)等を通じ、事業者間の情報交換、研修会等に参加し、事業者間の連携と職員の資質の向上に努めました。また、11月12日のうきは市主催「介護の日フェスタ」では事業所紹介コーナーに出展しました。
- *「うきは市障害者福祉施設連絡会」(希望ヶ丘、浮羽学園、浮羽共同作業所、白鳥の家の4施設)により障害者並びにその家族の抱える悩みや不安を解消できるようにと「第1回家族のつどい」を開催し、「かうひい工房べるる」所長小串武様より『私がぜひ伝えたいこと』と題し講演頂きました。

IV その他

1. 実習・見学受入状況

(1) ワークサポート 白鳥の家

団体・組織	人数	団体・組織	人数	団体・組織	人数
御幸小学校2年生	31	日田特別支援学校2年生(実習生)	1	福岡県立視覚特別支援学校(実習生)	1
千年公民館福祉部	31	筑後特別支援学校2年生(夏休み期間受入)	2	共生館国際福祉医療カレッジ(実習生)	2
福岡医療福祉大学(実習生)	1	西南学院大学(実習生)	1	夏休み高校1年生ボランティア	1
福岡高等視覚特別支援学校	22	日田特別支援学校2年生(実習生)	1	小郡特別支援学校(実習生)	3
吉井中学校(福祉体験)	5	福岡高等視覚特別支援学校2年生(実習生)	1	山口県美祢市	15
筑後特別支援学校(冬休み期間受入)	1	御幸小学校ひまわり学級	6	計 17団体 125名	

(2) 通所介護事業(うきは市デイサービスセンター)

団体・組織	人数	団体・組織	人数	団体・組織	人数
浮羽中学校2年生	4	吉井中学校1年生	6	千年公民館福祉部	31
吉井中学校1年生	6	計 4団体 47名			

(3) 訪問介護事業(うきは市ヘルパーステーション)

団体・組織	人数	団体・組織	人数	団体・組織	人数
九州大谷短期大学	3	朝倉光陽高等学校	6	日本赤十字社	4
久留米筑水高等学校	2	計 4団体 15名			

(4) 社会福祉士援助技術現場実習(地域福祉課)

団体・組織	人数	団体・組織	人数
西南学院大学	1	久留米大学	1
計 2団体 2名			

V 平成23年度寄付者名簿

一般会計（香典返し寄付）

香典返し寄付金 合計 318件 9,126,000円

一般会計（一般寄付）

一般寄付金 合計 72件 1,310,891円

一般会計（物品寄付）

物品寄付 合計 4件 935,250円
